

ふらふらびんと

— その2 —

木と火と太陽の
ぬくもりのある暮らし
とっとり的
ライフスタイル型録





もくじ	02
はじめに	03
薪ストーブとライフスタイル ~薪割り倶楽部の場合~	04~05
木を使いたいと思ったら? 販売・施工事業所情報	06
木を使いたい人への支援は? 補助金情報	07
薪ストーブ① 河原さん	08
薪ストーブ② 櫻井さん	09
薪ストーブ③ 小林さん	10
薪ストーブ④ 薬膳食堂めぐり 楠本さん	11
薪ストーブ⑤ 中山さん	12
薪ストーブ⑥ 佐竹さん	13
薪ストーブ⑦ 寺杣さん	14
薪ストーブ⑧ 森のエネルギーと麻カフェ かりり	15
ペレットストーブ① 山根さん	16
ペレットストーブ② 山桶さん	17
太陽の温もりのある暮らし「太陽熱温水器」	18~19
太陽熱温水器① 長田さん	20
太陽熱温水器② 岸田さん ③ 米山さん	21
始まっているエネルギーシフト 智頭石油株式会社	22~23

はじめに

一説によると、化石エネルギーを通じて域外に流出している資金は、その地域のGDPの1割以上にもなると言われています。その資金の流れを止め、資金を地域で循環させることで地域コミュニティの持続可能性を図ることができるのが自然エネルギーです。

人類にとってエネルギーは、木を使った焚火などによりヒトを他の動物とは異なる進化である文明社会構築へと導き、科学技術を向上させる発展の証でした。それは石炭による蒸気機関、そして石油による内燃機関への転換などを経て、経済を大きく発展させてきました。しかし、同時に大気や土壌・海洋汚染、ひいては温室効果ガスの大量放出など自然環境に大きな影響を与え続けてもきました。そして、今や、自然環境への影響にとどまらず私たちの社会へ気候変動という形で未来に続く影を落としています。

私たちは、気づき始めています。いつまでも化石エネルギーに依存し続けるわけにいかないことを。わざわざ遠くの国である中東諸国に多くのお金をつぎ込んで化石エネルギーを輸入しなくても、身近にある自然エネルギーを活用した方が個人の暮らしや地域社会にとって良いようだということも。

「とっとりびと その2」は、そんな自然エネルギーのある暮らし、木と火と太陽の温もりの良さに気づき、すでに始めている人々の物語です。

